

●講義概要

「聞く・話す・読む・書く」のいずれの能力をとっても、「大体できる」から「きちんとできる」にステップアップするためには、好むと好まざるとにかかわらず、文法習得を確実にすることは避けて通れません。インテンシヴ4迄に学んだ必要最低限の文法事項の確認（幹の補強）と、新しい項目を身につける（枝の数を増やす）ことによって、フランス語運用能力をあげるための土台を築くことを目指します。

取り扱う項目（一部）：複合過去形、半過去形、大過去形、単純過去形、単純未来形、条件法、接続法

●履修条件

フランス語インテンシヴ4修了。または資格試験合格者。

●教材・参考文献

必要に応じてプリントを配布。

●提出課題・試験・成績評価の方法など

宿題(10%) + ディクテ(20%) + 中間試験(30%) + 期末試験(40%)

●主題と目標

インテンシヴ4段階迄の文法を完全に身につけていることを確認すると同時に、その延長上にある次のレベルの文法の習得を目指します。また、項目によっては、文法の背後にあるフランス語の仕組みについて考える機会とします。

1/授業においては、文法規則の確認や発見を行い、

2/次の週までに、与えられた練習問題を解く作業を通して、その定着を目指します。疑問があれば、次の授業で質問をして解決しましょう。

3/基本的に毎週ディクテを行います。そこでは、特に文法レベルでのミスをしないで書けるようになることを主目的とします。